

年度(対象年度: 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組みんでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3)学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、連関性があるものになっていますか。	C
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1)学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とHPなど)によって記述の齟齬	B
		(2)教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 学部ならびに各学科の教育研究上の目的及び育成する人間像をホームページ[0101-0102a]や学生便覧[0101-0102b, 4頁]で明確に記述しているが、大学の基本理念・使命・教育目的[0101c]は前提と考えて反映させていないため連関性は乏しい。
0202 学部及び学科の目的や人間像は中部大学ホームページ[0101-0102a]や学生便覧[0101-0102b, 4頁]で明示・周知・公表しているが、学部パンフレット[0102a, 3頁]及び学部のホームページ[0102b]には明示しておらずPR効果を高めた分かり易い記述を採用している。学生便覧[0101-0102b, 1頁, 4頁]が構成員への周知を果たしている。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの

項目 No.	
項目 No.	
課題事項	《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点
項目 No. 0101	大学の基本理念・使命・教育目的は前提と考えて学部及び学科の目的や人間像に反映させていないが、関連性を持たせるために反映すべきかどうかを検討する必要がある。
項目 No. 0102	学部パンフレット及び学部のホームページの記述に学部及び学科の目的や人間像を反映させることを検討する必要がある。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
未着手

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0101	学部の目的や人間像の記述を検討する。大学の基本理念・使命・教育目的との関連性を感じさせることを目標とする。
0102	学部パンフレット及び学部のホームページの記述を検討する。学部の目的や人間像を反映させることを目標とする。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0101-0102	a	A	教育研究上の目的と人間像 大学HP https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/
0101-0102	b	A	学生便覧 2017 大学HP https://www2.chubu.ac.jp/current_students/curriculum_section/pdf/binran_under_2017.pdf
0101	c	A	大学の基本理念使命教育目的 大学HP https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/
0102	a	A	学部パンフレット
0102	b	A	学部ホームページ 大学HP https://adm.chubu.ac.jp/academics/biology/

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準2	内部質保証
-----	-------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価(学内内部評価を含む)を自己点検・評価に取り入れていますか。	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
学部組織としての外部評価は昨年度実施されていない。外部評価を受審したのは、本学が日本高等教育評価機構に認証評価を受けたのは2014年度である[0203a]。しかし、この時も学部の自己点検は詳細に行ったが[0203b]、外部評価は大学全体としての評価に留まり[0203c]、学部ごとの具体的な点まで言及されておらず、PDCA サイクルを回すようなところまで到達していない。	
長所・特色 <<箇条書き>>	*先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>>	*向上すべき点、改善すべき点
項目 No. 0203	学内内部評価でいいので外部評価を実施すべきと考える。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない
現在取り組んでいるこの自己点検・評価業務がまさに改善の取り組みであり、春学期末までに、学内に設置されたピアレビュー委員会において、組織単位の評価を受けることとなる。その後、評価結果を受けて、改善策を策定し、実施する予定である。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0203	学部自己点検・評価の実施とそれに基づく PDCA サイクルの運用

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0203	a	A	大学機関別認証評価 大学 HP https://www3.chubu.ac.jp/about/evaluation/jiheer/
0203	b	A	平成 26 年度大学機関別認証評価自己点検評価書（該当箇所 p.21-22）
0203	c	A	中部大学平成 26 年度大学機関別認証評価評価報告書

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4	教育課程・学習成果（1）
------	--------------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針(DP)を定めて、公表していますか。	(1)課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針(DP)の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針(DP)の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針(CP)を定めて、公表していますか。	(1)学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2)学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3)授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4)卒業認定・学位授与の方針(DP)と教育課程編成・実施の方針(CP)は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針(DP)」⇔「教育課程の編成・実施方針(CP)」との整合	A
0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1)教育課程の編成・実施方針(CP)と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。(ナンバリング、カリキュラムマップ)	A
		(3)単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4)個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	A
		(5)授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A

0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(7)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401・0402・0403 各学科・専攻における教員会議にて検討した DP、CP について学部長、副学部長および各学科・専攻主任により構成される主任会にて学部内整合性等を更に検討し、検討結果を学部教授会に戻して教員の賛同を得た上で大学協議会等の大学全体レベルでの会議にて学部間整合性を検討した上で最終決定し、最終案について再度学部教授会にて確認して大学ホームページに公開している[0401a][0402a][0403a]。 0403 各教員が毎年度初頭に「教育活動重点目標・自己評価シート」を提出して当該年度の重点目標を設定し、これを学部長・学長が点検する。また、年度終わりに同シートに自己評価を記して提出し、これも学部長・学長が点検する[0403b][0403c]。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.0403	「教育活動重点目標・自己評価シート」により自己目標の設定や自己評価をおこなっている。
項目 No.0403	教育活動表彰制度を設けており、教員間のみならず学生からの評価も含めている[0403d]。
項目 No.0403	学生による授業アンケートをおこない、集計結果を各教員に提示すると共に学生からの意見に対する教員からの返答を公開している[0403e]。
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0403	学生による授業アンケートにおいて、必ずしも 100%の回答が得られていない[0403f]。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
授業中において学生に科目担当教員が授業アンケートへの参加を呼びかけ、携帯電話やスマートフォン等による Qumo を利用したアンケート回答を求めた。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料 記号	提出 区分	根拠資料の名称
0401	a	B	中部大学ホームページトップの「情報公表」バナーより情報公開ページにて公開
0402	a	B	中部大学ホームページトップの「情報公表」バナーより情報公開ページにて公開
0403	a	A	科目のナンバリング表
0403	bとc	A	「教育活動重点目標・自己評価シート」様式と記入要領
0403	d	A	2017年度教育活動顕彰制度に関するパンフレット
0403	e	B	中部大学ホームページTORA-NET バナーよりログイン、リンクメニューより授業評価ページへログイン
0403	f	B	中部大学ホームページTORA-NET バナーよりログイン、リンクメニューより授業評価ページへログイン

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果 (2)

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1)各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2)シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行なわれていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	A
		(3)学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法を講じていますか。	A
		(4)授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画（研究指導の内容および方法、年間スケジュール）を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	A
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1)シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	A
		(2)既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3)成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	A

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404 各学科・専攻において教務委員を選出し、各学科・専攻からのシラバスを初めとする教務事項について検討された結果を持ち寄って学部教務委員会を概ね毎月開催している[0404a]。 各学部から提出された教務事項、および大学から出された教務事項については、学部代表者から構成される教務委員会により検討されている。この教務委員会も概ね毎月開催している[0404b][0404c]。	
長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.0404	学部教務委員会を概ね毎月開催している。
項目 No.0404	教務委員会を概ね毎月開催している。
項目 No.0405	年度末において卒業・修了判定に関する学部教授会を開催している[0405d][0405e]。
課題事項 ≪箇条書き≫ *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
授業内容向上のため、例年担当者以外の第三者によるシラバス点検をおこなっている。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
項目 No.0404	担当者以外の第三者によるシラバス点検を年度末におこなっている。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資 料記号	提出 区分	根拠資料の名称
0404	a	B	中部大学ホームページトップの「情報公開」バナーより情報公開ページにてシラバスを公開
0404	b	A	中部大学教務委員会規定
0404	c	A	第三者によるシラバス点検の依頼文書
0405	d	B	中部大学ホームページトップの「情報公開」バナーより情報公開ページにて成績評価の基準、卒業要件・修了要件を公開している。
0405	e	B	学部教授会議事録（2月末）

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果 (3)

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針(DP)に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1)学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	A
		(2)成績分布、試験放棄(登録と受験の差)、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	C
		(3)学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	C
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	C
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0406 Grade Point Average (GPA) 制度を導入し、学習成果の指標に利用している [0406 a]。さらに、ルーブリックなどの学習成果の測定方法が個々の教員レベルで活用されている。
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの

項目 No. 0406	Grade Point Average (GPA) 制度の導入
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0406	学部全体としては、学習成果の測定を実施していない。
項目 No. 0407	エビデンスに基づく学習成果の点検・評価を行っていない。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
学習成果の測定を学部として実施し、それを基にした PDCA サイクルを進める。

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
No. 0406	学習成果の学部全体での測定の実施
No. 0407	測定結果に基づいた評価、およびそれに基づく目標設定の実施

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
No.0406	a	A	学生便覧 (GPA 制度について)

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

年度(対象年度: 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準5	学生の受け入れ
-----	---------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP)を定めて、公表していますか。	(1)卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2)明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とHP等の媒体間の記述の統一	A
		(3)社会に対し公表していますか。	A
		(4)下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP)の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
0502	入学者受入れの方針(AP)に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1)入学者受入れの方針(AP)と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2)入学者受入れの方針(AP)に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針(CP)と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	C
		(3)入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	C
		(4)公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5)入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率	A
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等においてエビデンスに基づいた定期的な検証	C
		(2) 点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・ 年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501	DP 及び CP に応じた教育を受けるために必要な人間像を定義する旨が AP に明記されており (0501-0502a)、DP 及び CP に踏まえたものである。入試要項 (0501-0502b) には学部・学科の AP は記されておらずリンク先が示されているのみで齟齬はない。ただ AP のリンクは対応ページに直接移動できない不具合がある。AP は大学ホームページで公表しており、入学前の学習歴や学力等及び求める水準を含んだ記述となっている (0501-0502a)。
0502	AP (0501-0502a) では多様な人間像が示されており、対応して試験科目選択に自由度を高めた多様な入試形態と入学者選抜方法が用意されている (0501-0502b)。入学者選抜方法と教育課程の編成・実施方針(CP)との連関や入試にかかわる責任所在の明確化については検討されていない。入学者選抜試験では作問委員を固定せず、試験後は受験者氏名等を伏したまま合格者選考会議を実施して学力試験結果や小論文及び面接試験結果を総合的に判定した上で教授会において合格者を審議して、透明性を確保しつつ公正かつ公平な入学者選抜に努めている。
0503	在籍学生数の過剰や未充足に関する対応を毎年重ねており、入学・収容定員に対する学生数比率は1割程度の過剰で収まっている (0503a)。編入定員に対する編入学生比率が大きく下回ったが人数的には2名に留まる。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0502	入学者選抜方法と教育課程の編成・実施方針(CP)との連関や入試にかかわる責任所在の明確化については検討する必要がある。
項目 No.0504	学生募集や入学者選抜方法の適切性の検証や点検・評価結果に基づいた改善・向上を実施する必要がある。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0502-0504	入試にかかわる責任を持ち、入学者選抜方法と教育課程の編成・実施方針(CP)との連関を確保し、学生募集や入学者選抜方法の適切性の検証や点検・評価結果に基づいた改善・向上を実施する委員会の設置を検討している。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0501-0502	a	A	3つのポリシー応用生物学部 大学HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_biology/
0501-0502	b	A	入試情報 大学HP https://adm.chubu.ac.jp/entrance_exams/
0503	C	A	学生数現況

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1)大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	A
		(2)教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(3)学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1)教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	C
		(2)規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1)FD 活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
0605	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0602 (1)各学科が法令定員の140%を超える専任教員を擁しており(0602a)、教員当たりの学生数も34人程度(0602d)で教育研究活動を実施するのに十分な教員数を確保している。(2)主要科目の担当はほぼ専任教員が専門分野との関連や科目に対する知識に応じて各学科の目的に沿って適性に配置している。年齢構成もバランスが取れている(0602b)(3)教養教育は全学共通教育学部と連携する全学的な運営体制が整っている(0602c)。	
0603 昇格についての規程(0603a)はあるが、募集・採用に関する規定は学部では定めていない。昇格については規程に従って人事を行っている。	
0604 FD活動においては全学のFD委員会に委員を出し、全学レベルのFD活動と連携してFD委員を中心にFD講演会等や自己点検評価を実施するとともに前年度の評価点検に基づいた年度重点目標の設定を行っている(0604a)。	
0605 全学レベルで年度当初における重点目標設定と年度末における自己点検・評価を実施しており、エビデンスに基づく点検・評価を実施しているが、教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価や組織的な目標設定をした改善・向上には至っていない。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0603	募集・採用に関する規定を学部で検討する必要がある。
項目 No.0605	教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価や組織的な目標設定をした改善・向上を検討する必要がある。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
未着手

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策(到達目標を含む)
0603	募集・採用に関する規定を学部で検討し、明確化する。
0605	学部の教員組織についてエビデンスに基づく点検・評価法や組織的な目標設定をした改善・向上策を明確化する。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0602	a	A	応用生物学部 0602a：法令定員と教員組織
0602	b	A	応用生物学部 0602b：教員数
0602	c	A	応用生物学部 0602c：全学共通教育実施体制

0602	d	A	応用生物学部 0602d : 教員当たり学生数
0603	a	B	昇任規程
0604	a	B	FD 報告書案
0605	a	B	教育活動重点目標・自己評価シート

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2)学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	A
		(4)学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的(安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等)の支援	A
		(5)学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生のキャリア支援を行うための体制(学部との協力・連携を含む)の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施	A
		(6)インターンシップは十分に実施していますか。	B
		(8)学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
--

主に多様な学生への対応、キャリア支援や生活基盤整備に関して、大学全体の方針に基づきつつ、本学部独自の視点も活かしながら適切な学生支援活動を展開している。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	正課外教育として、学生サポーターも参画する化学の補習講義を実施している [0702 a]。
項目 No. 0702	弁護士を招へいし、ブラックバイトの注意喚起を目的とした正課授業を行っている [0702 b]。
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0702	インターンシップについて、応用生物に関する協力企業があまり多くない [0702 c]。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
現在、正課教育の一環として全学的に実施しているインターンシップに対して、本学部の特徴や視点を新たに盛り込むことによって、当該制度のより一層の充実をはかる。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0702	応用生物学に係わるインターンシップ協力企業を現状より増加させる。
0702	インターンシップに関して、学部独自の説明会や研修を実施する。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0702	a	A	化学の補習授業 (正課外教育) 実施に関する教授会資料
0702	b	A	ブラックバイトについての授業資料
0702	c	A	インターンシップ協力企業一覧

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準8 教育研究等環境

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 昨年度は平成 28 年度に大学で策定された先端教育環境整備充実事業の計画に則り、学生院生共用研究機器室の整備が行われた[0802a, 0802b]。比較的利用率の低かった場所をより多くの学生が利用できるような施錠システムに改修し、分析装置など共用性の高い機器を集約した。学生院生共用研究機器室の整備は本年度を含む2カ年計画なので、まだ自己点検評価をする段階まで到達していない。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	限られたスペースと機器を有効に活用して、着任したばかりの研究環境が整っていない教員でも研究指導が実践できる環境を整える。
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	主担当者が転出してしまったため、業務をスムーズに引き継ぐことが課題である。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
施錠システム、機器予約システムの設置。防犯カメラの設置を行った。また、DNA シークエンサー、極微量分光・蛍光光度計を新規に設置した。

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0806	学部内の教員、学生らにアンケートを行い、自己点検・評価を実施。改善策を考え、より良い教育研究環境の整備を目指す。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0802	a	A	先端教育研究整備充実 WG 活動報告
0802	b	A	先端教育研究環境整備 実行計画 (案)

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2)社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3)地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
<p>応用生物学部では、地域社会と連携して様々な社会貢献を行ってきた。その一つとして、本学部環境生物学科を中心に岐阜県恵那市の本学研修センターを拠点として、土岐川・庄内川流域市民や源流域の行政、NPO 団体と協働して運営し、森の健康診断を実施している[0902a]。本活動は、文部科学省 COC 事業の一環として位置づけられ、2月に開催された学内評価委員会、学外評価委員会および COC 学内委員会にて審議され、本学認定資格の「地域創成メディアーター」育成および地域志向研究として地域活性化と学生教育に高く貢献していると評価されている[0902b]。また、愛知県ペストコントロール協会と連携協定を締結し[0902c]、学生への業界紹介および業界の人材育成を目的として「第1回ペストコントロールカレッジ」を11月8日に開催した。その取り組みが業界機関誌に取り上げられ、今後の社会貢献が期待される[0902d]。さらに、春日井市内ではサボテンを活用した地域活性化活動「春日井サボテンプロジェクト」[0902e]が実施されており、本学部の教員、春日井商工会議所職員、市内事業者らが参加している。活動内容の検証は定期的に行われ、今後のプロジェクトの方向性とこれまでの活動の自己点検を目的とした市民参加型のシンポジウムを開催した[0902f-g]。他には、日本食品衛生学会東海・北陸ブロックと共催して、本学の学生に食品関連産業における『リスク予防管理』の教育を行うことを目的として『日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会』を開催し、食品衛生の情報の提供などを行っている。これは、本学認定資格「リスク予防管理士」の取得セミナーとして位置づけ評価している[0902h-j]。</p>	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.0902	恵那地域および流域市民との協働体制が継続的に維持された、地域に求められた活動である[0902a-b]。
項目 No.0902	森の健康診断では、市民の啓発にとどまらず、文科省 COC 事業として認められ、地域との学生の共育がなされている[0902-b]。
項目 No.0902	ペストコントロール協会機関誌や学会等があるため、取り組みの効果がわかり易い[0902c-d]。
項目 No.0902	サボテンプロジェクトでは、市民参加型のシンポジウムを開催することで、事業者・農家・行

	政関係者などから広く活動に関する意見を集約し、有効に活用している[0902e-g]。
課題事項	《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点
項目 No.0902	森の健康診断では、実施効果等について、対外的アピールに努力すべきである[0902a]。
項目 No.0902	ペストコントロールは初年度の取り組みであったため、今後持続性と発展性を模索してゆく[0902c-d]。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない
<p>オープンキャンパスや高校での模擬講義などの機会に、チラシ等を準備して説明している。 学部ホームページなどでの Web 上でのアピールも検討している。 対象年度はプロジェクトの活動状況を検討する定期的な会議に加え、より多くの意見を集めプロジェクトの自己点検に活用するため市民参加型のシンポジウムを開催した[0902e-g]。本シンポジウムには約130人が参加し、プロジェクトの改善に向け一定の効果が得られた。しかし本プロジェクトは地域活性化活動であることから、今後はより多くの市民の意見を恒常的に取り込む仕組みを導入していく必要がある。</p>	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0902	対外的な説明頻度を高める。
0902	学部ホームページなどを通じた Web 上でのアピールや報告を検討する。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0902	a	A	中部大学チャレンジ・サイト post 森の健康診断 https://www3.chubu.ac.jp/challenge.site/project2015/06/
0902	b	A	H29 地域志向_評価結果
0902	c	A	日本ペストコントロール協会 Pest Control
0902	d	A	愛知県ペストコントロール協会 Pest Control News
0902	e	A	春日井サボテンプロジェクト HP http://www.kcci.or.jp/saboten-pj/
0902	f	A	春日井サボテンサミット 新聞記事
0902	g	A	春日井サボテンサミット 実績報告書
0902	h	A	日本食品衛生学会 HP ブロック情報 日本食品衛生学会 HP http://shokuhineisei.or.jp/event/district
0902	i	A	中部大学応用生物学部 HP 第2回日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会のお知らせ 中部大学応用生物学部 HP https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23483/
0902	j	A	第2回日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会チラシ

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

電子データ

応用生物学部 0902a：中部大学チャレンジ・サイト post 森の健康診断

<https://www3.chubu.ac.jp/challenge.site/project2015/06/>

応用生物学部 0902b：H29 地域志向_評価結果.pdf

応用生物学部 0902c : 日本ペストコントロール協会 Pest Control. Pdf
応用生物学部 0902d : 日本ペストコントロール協会 Pest Control News. Pdf
応用生物学部 0902e : 春日井サボテンプロジェクト HP <http://www.kcci.or.jp/saboten-pj/>
応用生物学部 0902f : 春日井サボテンサミット 新聞記事
応用生物学部 0902g : 春日井サボテンサミット 実績報告書
応用生物学部 0902h : 日本食品衛生学会 HP ブロック情報
日本食品衛生学会 HP <http://shokuhineisei.or.jp/event/district>
応用生物学部 0902i : 中部大学応用生物学部 HP 第2回日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会
のお知らせ
中部大学応用生物学部 HP <https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23483/>
応用生物学部 0902j : 第2回日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会チラシ

2018 年度(対象年度: 2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学部
--------	--------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A: 適切に取り組んでいる」「B: 概ね取り組んでいる」「C: 改善すべき点がある」「D: 今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
教授会は規程[1120a]に基づき議長の承認を受けて開催通知、議事録は事務局で作成し議長の決裁を経て本部へ提出している[1120c][1120d]。議事はあらかじめ同規程に位置づけられた主任会において、申し合わせ[1120b]に基づき事前協議を行っている。主任会には専門常置委員会(学部教務委員会・共通機器委員会・学生実験委員会・学部選抜委員会)を規定し、固有事項の処理及び主任会より付託された事項を審議し、主要内容は主任会へ報告・承認を得る。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.1120	議事資料は投影により紙の節減を図っている。またあらかじめ構成員にメール送付し、DLしたPC等を持ち込み、議場において手元で確認することができる[1120e]。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 向上・改善の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
1120	常置専門委員会の運営規定整備

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
1120	a	A	中部大学応用生物学部教授会規程
1120	b	A	応用生物学部・研究科主任会申し合わせ
1120	c	B	教授会議事録
1120	d	B	決裁文書
1120	e	B	教授会資料送付メール控

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料　B：現部署で保管